

一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 陣内踏切等開かずの踏切問題	阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備事業の資料「鉄道構造・縦断イメージ図」を見ると、高架駅にはなるが、路線は地上である。そうすると役場前の陣内踏切は現在、肥後大津～宮地間 20 本、上り 18 本合わせて 38 本の列車が走っているが、熊本アクセス鉄道が開業すれば、肥後大津～熊本アクセス鉄道間・片方向、普通/47 本・快速 14 本合わせて 61 本の列車が走行する。合わせて 162 本の列車が走行する予定であり、肥後大津下り方の陣内踏切では朝夕の通勤時間帯に大渋滞が発生する恐れがあるが、住民説明会では、その可能性を説明したのか、踏切を立体交差にする必要があるのではないか。以上町長の見解を問う。	町 長
2 調整池の整備について	以前も質問したが、美咲野 2 丁目・3 丁目の調整池の雑草が、年間を通して、通学路の視認性を低下させている。また葛が伸び放題で、ツツジに葛が絡まり景観を損ねている。また、美化作業での撤去作業も非常に大変であり、近隣住民の不満も溜まっている。以前の質問では、除草作業をいつ行うか適切に考えて対応すると答弁があったが、対応を問う。	町 長
3 インクルーシブ社会の実現へ	2015 年に国際連合で採択された SDGs「持続可能な開発目標」において、すべての人が包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を推進することが挙げられている。ここで言う包括的とは、まさにインクルーシブのこと。インクルーシブ社会は、これからの社会が目指すべき指標と言える。以上を踏まえ 2 点問う。 （1）インクルーシブ教育の推進及び課題について （2）インクルーシブ遊具の現在の利用状況や、今後の整備体制について	町 長 教 育 長